

国際音楽祭ヤング・プラハ通信

第 11 号

国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員会

【事務局】〒105-0012 東京都港区芝大門 2-4-5-904 (Arts Plus 内)

Phone 03-5472-3072 Fax 03-3438-2229 Email ypraha@mac.com

http://www.youngpraha.jp

平成 21 年 10 月 12 日発行

国際音楽祭ヤング・プラハ 2009

国際音楽祭ヤング・プラハ チェコ実行委員会
運営委員 フィンダ志保子

第 18 回国際音楽祭<ヤング・プラハ>は、無事に終了いたしました。

今年はこの経済状況の中、規模を縮小せざるえなかったものの、内容は充実したものであったと思います。参加国も一人で国籍を 2 つや 3 つも持っている演奏者もいたために 8 カ国となりました。協賛会社やご来場いただいた方々からも、今年のヤング・プラハは、演奏会、レセプション共に今までに増して特別なものであったとメッセージをいただきました。チェコで実行する側にとっては、終了するまで沢山の心配事などありましたが、今はとにかく無事に盛況に終わることが出来、実行委員一同ホッとしております。ファイナルコンサートでは、4 つの楽器のコンチェルトを一回の演奏会で一度に聴くことができ、<こんな機会はこちらプラハに住んでいてもまずない！>と大好評でした。音楽祭始まって以来の女性指揮者 Rozsova さん、オーボエがこんなに素敵な楽器だったと聴衆に教えてくれたフラン

スからのオーボエ奏者 Descotte 氏、そしておそらくこれまでのソリストで最年少、3 つの国籍を持つ 14 歳になったばかりとは思えないヴァイオリニスト Mohamed 君の堂々とした演奏、プラハの春コンクールで今年 1 位になった、ヤング・プラハ 2 回目出場のファゴットのヴォナーシェク氏、わずか 11 歳でリスト音楽院に入学を許可され、現在 19 歳とは思わせない落ち着きのあるピアニスト金子君、またワルトシュタイン宮殿ホールで素敵なクラリネット 5 重奏を聴かせてくださった櫻田さん、他出演者の皆さま本当にありがとうございました。準備期間からの出演者の皆さまとのやり取りから、本祭が終わるまでの思い出は語れば限りありませんが、いつも感じることは<演奏は性格>ですね！

最後になりましたが、中島先生大変お疲れ様でした。そして、現地チェコと日本からの協賛各社の皆さま、サポーターの皆さまありがとうございました。この紙面をお借りいたしまして心よりお礼を申し上げます。

【2009 年 本祭】

8/29 スルプスカー・カメニツェ (シナゴーク)

8/30 ヘジマヌーフ・ムニェステツ (ヴァーツラフ教会)

9/2 バドシャングドウ (ヨハネス教会)

9/3 プラハ (ワルトシュタイン宮殿ホール)

9/4 フランティシコヴィラーズニェ (ホテル・モンティ)

9/8 プラハ (ブラック スワン)

9/9 プラハ (ベルトラムカ荘)

9/10 プラハ (プラハ日本人学校)

9/10 テプリツェ (ヤナ クシティテル教会)

9/11 プラハ (スークホール)

9/12 リトミシュル (キャッスル劇場)

9/15 プラハ (ドヴォジャークホール)



【左】世界遺産のリトミシュル・キャッスルシアターでリハーサルをする金子三勇士、【中】トーマス・チステッキー (国際音楽祭ヤング・プラハチェコ実行委員長)、中島良史 (国際音楽祭ヤング・プラハ日本実行委員長)、ヨセフ・スーク (国際音楽祭ヤング・プラハ・チェコ実行委員会 会長)、【右】駐チェコ共和国日本国大使 原田親仁氏、ヨセフ・スーク

今年の招待出演者より

住みたくなる素晴らしい街



櫻田はるか (クラリネット)

ヤングプラハ音楽祭の名前は、大学一年生時にヤングプラハ音楽祭実行委員でもあられる中島良史先生の合唱の授業で、素晴らしい音楽祭ということは何回か耳にしており、今回私自身が出演する機会を与えられた時は本当にびっくりしたと同時に、強い責任感を感じました。

わずか一週間ほどの滞在でしたが、プラハの街は昼夜問わずとても美しいこと、街の空気・時の流れがゆったりしているところ、食べ物が美味しいこと、音楽を好きな人が多いことが相まって住みたくなってしまいくらい素晴らしい街でした。

演奏会場以外にも合わせをした、プラハ室内フィルハーモニックの練習会場も響きが素晴らしく(練習場にシャンデリアがあり、驚きました。)、モーツァルトゆかりの地でプラハ室内フィルハーモニックのメンバーの方々と共に共演させていただいたことは、一生の宝です。

プラハに滞在してみて、なぜモーツァルトがプラハを好きだったのか。そして、プラハの人々がモーツァルト及び、モーツァルトの音楽を愛していたことが少しだけ肌で感じられたのも私にとって大きな財産です。

これからも、音楽と共に生きていけるよう、少しでも進歩できるよう勉強を頑張りたいと思います。

最後になりましたが、音楽祭に出演する機会を与えてくださった横川晴児先生、中島良史先生、フィンダ志保子さんをはじめとする実行委員会の皆様方、共演者の方々に改めて御礼申し上げます。

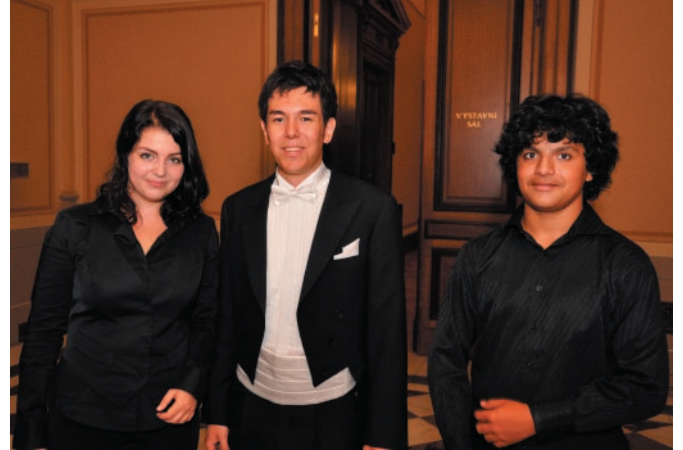
音楽は世界共通

金子三勇士 (ピアノ)

2009年 ヤング・プラハ国際音楽祭にご招待いただきありがとうございました。このような素晴らしい企画に参加出来た事をとても嬉しく思っています。スポンサーの皆様を初め、マネジメントやスタッフの皆様には心から御礼申し上げます。

今回ニカ所で演奏の機会をいただきました。スメタナの生地でもある世界文化遺産のリトミシェル・キャッスルそして世界トップクラスコンサートホールとされているプラハのドヴォルジャーク・ホール。どちらも感動的な響きを持つ会場でした。ドヴォルジャークホールではプラハ室内

シンフォニーオーケストラの皆様と指揮者のミカエラ・ロジョバさんとの共演も楽しい思い出となりました。他国からの参加者も多く、一緒に貴重な時間を過ごす事が出来ました。これも国際音楽祭ならではの体験であり、音楽は世界共通である事を改めて実感致しました。この貴重な体験を今後の演奏活動に繋げて行きたいと思います。



【上】ドヴォルジャークホールでのファイナル公演でプラハ室内フィルハーモニックと共演する金子三勇士(ピアノ) 【下】演奏会後に、共演のミハエラ・ロズソヴァー(指揮・スロヴァキア)、モハメッド・イバール(ヴァイオリン・アルジェリア/チュニジア/フランス)



駐日チェコ大使館でのコンサート



また今年も恒例の「ヤング・プラハ大使館コンサート」の時期がまいりましたのでご案内いたします。添付のお申込書にてお申込みください。

- 月日 2009年11月12日(木)
19:00 ~ 20:30
- 場所 駐日チェコ共和国大使館
- 出演 金子三勇士(2009年出演・ピアノ)、鈴木裕子(2006年出演・ソプラノ)、武藤頼子(2000年出演・ヴァイオリン)

